

## 技術評価報告書

申込者： JFE 条鋼株式会社 代表取締役社長 渡辺 敦  
東京都港区新橋五丁目11番3号

技術名称： Jフープ 785 設計施工指針(2025年)

当法人「建築構造技術審議委員会」において慎重審議の結果、2024年12月24日付けの技術評価書(SABTEC 評価 15-01R1)の通り、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、本技術は妥当なものであると判断されたことを報告する。

2024年12月24日

一般社団法人  
建築構造技術支援機構

代表理事 益尾 潔

### 建築構造技術審議委員会

委員長	窪田 敏行	近畿大学	名誉教授
副委員長	田才 晃	横浜国立大学	名誉教授
委員	磯 雅人	福井大学大学院工学研究科	教授
〃	岸本 一藏	近畿大学建築学部建築学科	教授
〃	田中 剛	神戸大学大学院工学研究科	教授
〃	都祭 弘幸	福山大学工学部建築学科	教授
	三谷 勲	神戸大学	名誉教授



## 技術評価書

申込者： JFE条鋼株式会社 代表取締役社長 渡辺 敦  
東京都港区新橋五丁目11番3号

技術名称： Jフープ785 設計施工指針(2025年)

技術概要： Jフープ785は、JFE条鋼(株)水島製造所が製造する大臣認定取得のせん断補強筋用高強度鉄筋棒鋼 JH785 を用いた  $785\text{N/mm}^2$  級高強度せん断補強筋であり、溶接閉鎖型、フック形式およびキャップタイ形式として用いることができる。

Jフープ785設計施工指針は、SABTEC評価15-01(2015年9月25日)を取得後、SABTEC評価15-01R1(2024年12月24日)のJフープ785設計施工指針(2025年)では、Jフープ785を用いた基礎梁横補強筋のフック付き重ね継手を適用範囲に追加するとともに、SABTEC高強度せん断補強筋(2023年)と同様、7章に中段筋梁の設計を追加している。

本委員会は、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、下記の通り、本技術は妥当なものであると判断した。

2024年12月24日

一般社団法人  
建築構造技術支援機構  
建築構造技術審議委員会  
委員長 窪田 敏行

### 記

- 評価方法： 申込者提出の下記資料によって、技術評価を行った。  
Jフープ785設計施工指針(2025年)、実験説明資料および関連資料  
これらの資料には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した技術資料がまとめられている。
- 評価内容： Jフープ785を用いた鉄筋コンクリート造柱、梁は、長期荷重時に使用上支障を来たすひび割れおよび短期荷重時に修復性を損なうひび割れを起こさず、Jフープ785設計施工指針に定められたせん断終局耐力を有すると判断される。

## 技術評価内容

申込者 JFE 条鋼株式会社  
代表取締役社長 渡辺 敦  
東京都港区新橋五丁目 11 番 3 号

技術名称 J フープ 785 設計施工指針(2025 年)

### 適用範囲

- (1) 適用部位 鉄筋コンクリート造柱、梁  
(2) 材 料

せん断補強筋 呼 称 : J フープ 785  
種 類 : JH785

(大臣認定番号 MSRB-0096、平成 27 年 8 月 10 日)

呼び名 : D10, D13, D16

コンクリート 種 類 : 普通コンクリート

設計基準強度 : 21 N/mm<sup>2</sup> 以上、60 N/mm<sup>2</sup> 以下

### 技術評価の主な審議事項

技術評価の主な審議事項は、J フープ 785 を用いた基礎梁横補強筋のフック付き重ね継手の妥当性としている。

### 技術評価に際して行われた実験等の概要

J フープ 785 を用いたフック付き重ね継手を有する基礎梁(4 体)の実験を基に、SABTEC 高強度せん断補強筋設計施工指針(2023 年)の検証実験と照らし合せて、J フープ 785 設計施工指針(2025 年)の妥当性を確認している。

### 技術評価の経過

2024 年 12 月 24 日開催の第 65 回建築構造技術審議委員会では、申込者提出の技術資料について慎重に審議を行い、内容を検討した結果妥当なものであると判断した。

以上